

NEWS

題字・イラスト：橋爪貴司さん

発行責任者：藤崎 進

編集委員：藤崎・土屋(紗)・梶原

まろん科作業紹介

もうすぐ収穫！ じゃがいも栽培

春の風が心地よく、緑のきれいな季節となりました。五月号では外活動(畑作業)を主としているまろん科の活動をご紹介します。と思います。

現在の活動の中心はじゃがいも栽培です。利用者さんは運ぶ作業がとても得意。まろん科ではみなさんの得意な「運ぶ」という動作を活かした作業活動を行っています。じゃがいも畑は一日にしてならず。冬の間にはバケツを使って堆肥を運び、畑を土作りから行いました。

霜が降りなくなった三月中旬、種芋を植えました。品種は男しゃく、メークイン、北あかりの三種類。切った種芋に丁寧に草灰をつけ、種イモの植え付けにも挑戦しました。職員が穴をあけた所に、木村さん・常松さん・立石さんを中心に、種芋を上手に入れていただきました。春先の暖かい気候の影響を受け、じゃがいもはすくすく順調に育っています。



ひとつ一つ丁寧に

現在は沢山出てきている芽から数本を残す芽かきの作業と並行して、皆さんには土寄せを頑張ってもらっています。今年はビニールマルチを使わず、草で畝を覆う草マルチ栽培。雑草との闘いを制し、6月には美味しい新じゃがをお届けできると思いますので楽しみに待っていてください。ね。



リサイクル活動

梅雨空の日も活動できます



まろん科のもう一つの柱となっているのは、年間を通じて行うリサイクル活動。昨年の活動で、なんと千五百五十kgの空き缶・ペットボトルをリサイクルしました。活動場所は、トラクター倉庫として使っていた小屋を、リサイクル活動を行うスペースとして改装。屋根のある作業場は、天候

に左右されず、これからの雨の日も快適に活動することができます。ペットボトルの蓋をとってラベルをはがす方、プレス機を使い空き缶を潰す方、それぞれが得意な作業を行っています。特に、和田さんと竹田さんの連携プレーが光ります。



和田さんが並べた空き缶を竹田さんがプレスする見事な連携プレー！！



外活動は五月の気持ちのいい日ばかりではなく、夏の暑い時期、冬の寒い日もあります。それでも春の菜の花・筍、初夏のじゃがいも、梅干し作り、秋には栗の収穫、冬の畑の土づくりと、自然の中で四季に合わせた活動が展開され、充実した活動となっています。

昨年不作だった梅は、今年は大わかに実っています。まろん科の代名詞であるしょっぱい梅干しが沢山出来る予定です。品切れ必至。お買い求めはお早めに。(梶原)

新任職員紹介



まろん科 所属
ふきたに ゆうさく

落谷 雄作 (22才)

今年度よりまろん科の配属になりました落谷雄作(ふきたに ゆうさく)です。長崎県から参りました。方言が強く何を言っているのかわからないときがあるかもしれませんが、これからよろしくお願いします。まろん科初日の仕事はタケノコ掘りでした。訳もわからず、タケノコを掘っていましたが、親御さんが喜んで買ってくれると、とても嬉しかったです。ありがとうございました。

私は大学で福祉の分野に触れ、福祉の道で頑張っていたと思います。菜の花会には、大学を通じて縁がありました。既に一ヶ月が過ぎ、独り立ちして任される仕事も多くなりました。失敗する事もあるかもしれないませんが、落ち着いて一つずつしっかりと仕事をし、少しでも早く一人前になりたいと思っています。(落谷)



ご存知ですか?
facebook

菜の会ではフェイスブックでも利用者さんの日常の様子を発信しています。広報紙は月に一回の発行ですが、フェイスブックはリアルタイムでの情報を発信しています。最近では四月の外出の様子や、じゃがいもの生育状況等が発信されています。菜の花会ホームページにも、最新の五件が掲載されています。皆さんの「いいね!」をお待ちしています。



しもふさ学園の ゴールデンウィーク

ゴールデンウィークはお天気にも恵まれ、お出かけした方も多いのではないのでしょうか? 学園の利用者さんたちも、のんびりとした時間の中でのお休みを満喫しています。

下総の《宝船公園》へ出かけてアイスを食べたり、少人数だからこそできるおやつ作りに挑戦。西館では、高柳さんと小原さんで、贅沢フルーツ載せのフルーチェ作り。その後、ドリップで入れたコーヒーでゆったりとした時間を過ごされました。

より一層の信頼関係を

個別支援計画説明会



今年度も四月二十一日～二十二日の三日間を中心に、平成三十年年度個別支援計画説明会を実施いたしました。お忙しい中、親御さん・ご兄弟・後見人の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

今年度は、個別支援計画の説明と併せて、「もしものとき意向書」の内容確認や、衣類等年間購入サポートについての確認を行ったため、一時間という限られた時間では話し尽くせない程、例年になく内容の濃い面談を行うことが出来たかと思えます。親御さんの沢山の想い・言葉に触れ、それに応えねばと思いを新たにしました。

個別支援計画は、いわば利用者さん・親御さんと私たち支援者との支援のお約束。日中活動・余暇・食事・生活支援等、様々な場面で、充実した時間が過ごせるように一人ひとりに合わせた支援に向けて取り組みが始まります。支援計画の実践の積み重ねが、利用者さん・親御さんの笑顔に繋がる、「信頼の架け橋」となるように、しっかりと支援したいと思えます。



最後の署名・捺印は、お互いの「よろしくお願いします」のしるし。

お知らせ



いつもしもふさ工房椎茸科の生椎茸をお買い求めありがとうございます。利用者さんが生産した椎茸をより市場価格に近い値段で販売するため、今年度より生椎茸の値上げをさせていただきます。今後はA品とB品に分けて販売します。

今回値上げさせて頂くのはA品のみです。五月の下旬から収穫が始まる予定です。これまで同様のご愛顧の程をよろしくお願い致します。



A品	100g	120円
	300g	→ 360円
	500g	→ 600円

編集後記

ゴールデンウィークも終わり、しもふさ学園の新体制が始まって一ヶ月が経ちました。私はこの四月から五年間携わったまろん科から生活科に異動しました。新しい仕事をおぼえることに必死になる一方でまろん科のみんなが気になって仕方がないんです。

そんな私の想いを込めて今回の一面を書かせて頂きました。楽しんで読んでもらえたら嬉しいです。

(梶原)